

ベルギーニュース

ここでも無料に

4/28、ブリュッセル市グランプラスでWi-Fiが無料になった。パスワードなしでインターネットにアクセスできる。グランプラスに5つのアンテナを設置し、同時に1,000人がアクセスできるという。これはスマート・シティを目指すブリュッセル市の計画で、モネ広場 (la Monnaie)、ブロッケール広場 (De Brouckère) は7月から、ジュ・ドゥ・バル広場 (Jeu de Balle)、ルーッパ広場 (Roupe)、ボックスタール広場 (Bockstael (Laeken)) は10月から無料となる予定。この企画の経費は20万1千ユーロ。

5月から何が変わる？

- *アマチュアの水の上スポーツでもアルコール検査が行われる。
- *掃除や買い物、料理を用意してくれる家政婦に払うTitres-Servicesの額面8.5ユーロの小切手が使用できなくなる。払い戻しも不可。
- *税務署は、銀行口座の閲覧ができるようになる。但し、税務署が脱税を疑い税に関する不正がないかを調べる場合は、前もって口座の名義人に口座閲覧を連絡することが必要。
- *身体あるいは精神的な障害を持つ若者への手当支給期間を2年から3年へ拡大。
- *慢性疾患を持っている人に朗報。2015年1月1日から開始の予定だった特別受益者システムが5月1日より開始され、患者は医療費を前もって支払う必要がなくなった。

フルーツヨーグルトは・・・

Test-Achats / Test-Aankoop が30種類のイチゴヨーグルトをテストした結果、10,9から16,6%の砂糖が入っていると言う。乳脂肪もばかにならず、健康に良いとされるヨーグルトはカロリーが高い。6種のヨーグルトからは防腐剤も検出された。25種のヨーグルトから検出された着色料は、健康に影響しないとは言えない。うち7種のヨーグルトから検出された着色料は、アレルギー反応を引き起こすという。また、イチゴの量は僅かで、着色料や香りですれらしく仕上げている。香料の入っていない本物のイチゴの味がしたのはたった6種類のヨーグルトのみだった。



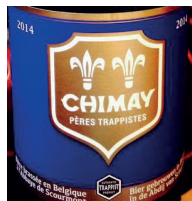
グランプラスで工事

ユネスコの世界遺産に指定されているブリュッセルのグランプラスが改装工事に入った。現在1から7番地の建物に工事用の幕がかけられている。第2期工事には、34から38番地が工事に入り、全工期は190営業日、約9カ月に及ぶ。建物正面が水洗いされ、壊れた壁の修繕、フレームや建具の復元、金めっきの塗り替えなどが行われる。総工費は125万ユーロ、80%はブリュッセル地方政府が負担する。工事中もカフェ、レストランは営業を続ける。



シメイビール変身

5/7、トラピストビールのシメイビールがニールックで登場した。修道院Scourmontで製造されるシメイビールのラベルの色は変わらないが、前より存在感があり、トラピストビールとの表示がはっきり分かるように工夫された。また、ベルギー国旗もラベルに印刷される。ラベルの紋章は今まで以上に「伝統あるシメイビール」という印象を与える。



ナンバープレートに一月

5/7現在、自動車登録局によると、ナンバープレートの発行は、技術的な問題で4週間の遅れが出ているという。フランダース系の保険代理店協会会長ロジャー・ヒュイジェンスによると、自動車登録局の問題はあったが解決され、遅れは取り戻したという。実際のところ、ウェブからの申請はちゃんと行われているが、自動車登録局へ個人的に書類を届ける人は、遅滞に直面している。

ブリュッセル空港の位置が良くない

首都ブリュッセル市から12kmの位置にある、ヨーロッパで比較的首都に近いザペンテム空港といわれているが、さらに近いリスボン (7km) やコペンハーゲン (8km) では、飛行機の騒音被害は聞かれない。実は距離に関係なく、気象との関係が問題とされる。風が西から吹くので、風に直面して飛ぶ飛行機はブリュッセルに向かって飛ぶことが多くなり、これがブリュッセルを危険にさらしている。新しい空港建設が課題になっていたが、ベルギー航空Sabenaが倒産して飛行機を利用する人が大幅に減り、新空港建設は不可能となった。しかし、近年ローコストのRyanairやVuelingなどの進出により、飛行機利用者が大幅に増えてきたため、再度新空港建設の話が持ち上がっている。



元首相逝去

5/15、フランス・ブルターニュ地方のビスケット工場を訪問していたジャン＝リュック・デハーネ元ベルギー首相 (73) が、気分が悪くなり、カンペールの病院に運ばれたが、亡くなった。今年初めにすい臓がんのため手術を受けて、4月にUZ Brussel病院で再発予防のための化学療法を行っていた。彼が2001年から2007年まで市長を務めたヴィルボルド (Vilvoorde) 市役所は、お悔やみの記帳を受け付けた。また、フィリップ国王やディ・ルポ首相も家族に哀悼の意を表した。

いつまで続く不景気

ベルギー国立銀行によると、2014年3月時点でのベルギーの貿易収支は、2月の3億ユーロをはるかに上回る7億ユーロの赤字となった。輸出は1年前に比べ1.4%減の214億ユーロ、輸入は同じく3.8%減の221億ユーロとなった。



ブリュッセルマラソン

5/18、晴天の中35回目のブリュッセル20kmマラソンが行われた。フィリップ国王も2度目の参加。国王としては初めて。マチルド王妃と4人の子どもの応援のもと、完走した。この日、気温が上がり、35人の選手が病院に運ばれた。中でも新聞「Le Soir」の28歳のジャーナリストOlivier Croughsが心臓発作を起こして倒れ、不幸にも病院で亡くなった。



国王は投票する？

5/25、ベルギー国内議員とヨーロッパ議員の両選挙が行われ、国民は投票の義務があるが、ベルギーの伝統として国王、王妃は、中立を守るため投票しないことになっている。彼らは国民として投票案内を受け取るが、しきりに従い投票しないと回答する。退位した父親のアルベール元国王とパオラ王妃は、今回投票する。



ローラン王子が特別大使に

フィリップ国王の弟、ローラン王子は、国際連合食糧農業機関 (FAO) の特別大使として、6月23日から4日間ローマでの会議に出席する予定。FAOは世界中の飢餓を根絶し、社会、経済の進歩を促進し、持続可能な自然資源を管理する機関である。ローラン王子は、環境保護へのコミットメントで知られている。